

ARTS for HOPE

宮城チーム活動報告書 2013年10月14日

東松島市・グリーンタウンやもと応急仮設住宅

ひまわり集会所

参加者が全員、大人の女性ということもあり、デザインもおしゃれなものが目白押しです。レースやフリルをまわしたり、花を飾ったり、ボタンを付けたりと、裁縫の技術を総動員。いちばんのご高齢は、90歳の元気なおばあちゃま。まわりのみんなに誘われ

での参加でしたが、できあがったものをかぶってみると、その日の服装とカラーコーディネートも程よくマッチし、素敵な姿となりました。

とんがり帽に螺旋に細いレースをまいて、ハートのビーズなどをつけた作品。

黒い帽子の周りのリボンにプラスレース。そこに花や葉っぱなどを飾り付けた作品は、なんだかインディオの女性がかぶっている帽子にも似ています。

幅広のピンクのレースをあしらって、お嬢様風の帽子をつくりあげる方。モールの先にオブジェをくっつけ、それが揺れるさまを楽しげにみんなで見ているのも、なんだかいい時間です。

それぞれの帽子が、ハロウィン用の帽子に見えたり。学習発表会の演劇に使いそうな逸品だったり。魔法使いの帽子みたいだったり、楽しい限り。

妙齢のご婦人たちも、自分でつくった帽子をかぶり、鏡に向かうと、なんだか微笑んでしまうみたい。遠い外野からの「それ、表でもかぶるのがあ」の声に、みんなで大笑いしましたが、なかなか、揃ってハロウィンの日に、玄関のベルを鳴らしたら、お菓子をたくさんもらえそうな、そんなハッピードール番外編、帽子デコレーションのワークショップでありました。

